

2017年11月16日

札幌市長 秋元 克広 様

日本共産党札幌市議会議員団  
団長 伊藤 理智子

## J R 高架橋等の早期修繕に関する要望

11月6日、札幌市厚別区のJ R千歳線・平和―新札幌間にある高架橋からコンクリート片が落下し、一部は信号待ちで停車していた車に当たりました。8日には、6日の現場からわずか370mしか離れていない高架橋からサビ片が落下し、車に当たりました。安全点検直後の事故であり看過できない事態です。

今回、幸いにもけが人はいませんでしたが、この場所は、以前から地域住民より「雨が降っていなくても横断していると汚水が落ちてきて洋服が汚れた」「信号待ちしていると上から水が落ちてくるので対策を考えてほしい」などの要望がありました。重さ2.5kgものコンクリート片(30cm程度)が落下したことは、一歩間違えば住民の命に関わる重大な事故となる可能性があります。

この高架橋は、1973年に建設されたもので経年劣化が著しく危険な個所が多数みられます。J R北海道によると2013年1月以降、石狩管内で発生した落下事案23件のうち20件が高架橋や橋りょうで起き、なかでも千歳線の平和―上野幌間(2.3km)は老朽化がすすみ7件も発生しています。

今回、落下のあった高架橋は今年6月に点検済みで、落下防止用のネットの隙間からすり抜けたと見られています。5月には旭川市でも同様の事態が発生しており全道的な緊急調査の実施と対策が急がれることから、日本共産党道議団、同札幌市議団、同厚別区委員会は9日、J R北海道に対し、当該高架橋の大規模修繕や設備の更新を含む安全管理の徹底、再発防止へ全道的な緊急調査と対策を行うよう要望しました。

つきましては、市民の安全を守るために、J R北海道に対し大規模修繕をはじめ落下防止のための十分な対策を講じるよう本市として要請されるよう要望いたします。